

平成27年4月14日

選手のみなさまへ
関係者のみなさまへ

特定非営利活動法人
日本知的障害者陸上競技連盟
会長 橋本 聖子

第20回IPC公認日本ID陸上競技選手権大会開催について

日ごろより当連盟の活動にご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日本ID陸上競技選手権大会を一般財団法人大阪陸上競技協会様のご理解をいただき、本年より3年間大阪で開催できることに感謝申し上げます。本年は、第20回の節目の大会として、8月1日・2日に万博記念公園陸上競技場を会場に開催の準備を進めております。

この大会は知的障がいをもつアスリートにとって、日本最高峰の大会としてみなさまに育てていただけてまいりました。回を重ねることにより、競技レベルが向上し参加者が増えました。このことは、当連盟にとりまして非常に喜ばしいことと存じます。選手のみなさまの日ごろの精進とご家族、コーチの献身的なサポートに敬意を表します。

一方、出場者が増えたことによりこれまでの競技日程では開催が難しい状況にあります。その対策として、毎回参加標準記録を高める手段を取らざるを得ません。今回、選手権クラスと未来アスリートクラスの部門を設け、それぞれに参加標準記録を設定いたしました。このことにより、多くの選手のみなさまに参加していただけると存じます。どうかご理解をいただき、エントリー下さいますようお願い申し上げます。

また、来年以降はエントリー時に記録証明書の提出をお願いすることを検討しております。詳細につきましては、ホームページ等によりお知らせいたしますので、ご理解をいただきたいと存じます。

この大会から過去に多数の選手が国際大会に出場し、活躍をおさめております。当連盟では、今回男女の400m、1500m、走幅跳、砲丸投の種目についてIPC公認申請を行うことにより、この大会から世界にはばたく選手を輩出したいと願っております。

引き続き、みなさまに愛される大会として運営を続けてまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。